

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol.35をお届けいたします。



## 9月のTOPICS

### ■ CAD患者における内皮機能障害と動脈硬化および心血管イベントリスクの予測に関して：FMD-J Study A.

今月のFMD NEWSは、国内におけるFMD多施設共同研究「FMD-J study」より、CAD患者の将来における心血管イベントリスクに対するFMD、baPWVの予測値を検証した報告が発表されましたのでご紹介させていただきます。

2010年5月から2012年9月までに登録された患者のうち、CADと診断され少なくとも6か月間の定期的なフォローアップを受けていた患者462名を対象とした前向きコホート研究を実施した。

FMDおよびbaPWVは研究開始時に測定をおこなった。

観察期間中における第1主要アウトカムは冠動脈イベント(心筋梗塞、冠動脈狭窄および再狭窄)、第2主要アウトカムは複合イベント(冠動脈イベント、脳卒中、心不全および突然死)であり、追跡期間(中央値：49.2か月)中に、第1主要アウトカムは56名、第2主要アウトカムは66名の患者で発生した。

ROC 曲線より得られた主要アウトカムを予測するためのカットオフ値は FMD は 7.1%、baPWV は 1731cm/s であった。Cox 比例ハザード分析では、FMD>7.1%は従来のリスク因子とは関係なく第1(HR:0.27 95% CI:0.06-0.74 P=0.008)、第2(HR:0.32 95% CI:0.09-0.79 P=0.01)主要アウトカムともその発生の低さと有意に関連し、baPWV $\geq$ 1731cm/sでは、第1(HR:1.86; 95% CI:1.01-3.44 P=0.04)、第2(HR:2.19 95% CI:1.23-3.90 P=0.008)主要アウトカムともその発生の高さと有意に関連していた。

また、FMD と baPWV のそれぞれのカットオフ値に従って 4 群 (Group1:FMD>7.1%,+baPWV<1731cm/s、Group2:FMD>7.1%,+baPWV $\geq$ 1731cm/s、Group3:FMD $\leq$ 7.1%+baPWV<1731cm/s

Group4:FMD $\leq$ 7.1%,+baPWV $\geq$ 1731cm/s) に分け分析したところ、発生リスクの段階的な増加が観察され、特に Group3、Group4 では、従来のリスク因子とは関係なく第1、第2主要アウトカムの有意な予測因子であった。

これらの結果から、CAD 患者における 2 次イベント発症リスクを評価する上では、FMD、baPWV の両方を測定することが推奨され、その手順としては、低リスクと考えられる FMD>7.1% の患者を同定するためにまず FMD を測定した上で、FMD $\leq$ 7.1 の患者において高リスクの患者を同定するために baPWV を測定することが推奨されると報告されています。

### ■ 9月学会のご案内 9月には下記学会にてハンズオンセミナーを実施いたします

#### 第32回日本臨床内科医学会

会期：9月16日(日)、17日(月)

会場：パシフィコ横浜会議センター 4階

#### ハンズオンセミナースケジュール

・16日(日):AM10:00-11:30 PM14:00-15:30

・17日(月):AM10:00-11:30

・ハンズオン会場では上記時間以外にも機器を展示しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。